

## 2019 年度事業報告

### 1. 重点方針の実施状況

本年度は、マネジメント業界の共同体（連盟）として存在感をより高めるため、引き続き既存事業の選択と集中をさらに進めるとともに、経済産業省をはじめとする関係省庁とのパイプを太くして密接な協力関係を構築していくように努めた。

- (1) 経済産業省をはじめとする関係省庁とのパイプを太くして、密接な協力関係を構築し、コンサルティング業界やマネジメント団体の声として、行政に対して意見を述べる役割を担っていく。
  - \* 全能連主催行事に、経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室長と担当官を招き、講演と意見交換を行った。継続してコンサルティング業界やマネジメント団体の声を、行政に対して届ける役割を果たした。
- (2) 全能連70周年記念行事：国際会議「ICMCI Asia Pacific Hub Meeting」の開催を通じて、全能連の中核事業であり、産業人材育成の一環となる「MC（マネジメント・コンサルタント）」と、「MI（マネジメント・インストラクター）」の申請増加につなげてゆく。
  - \* 当該事業を2019年5月27日（月）・28日（火）の2日間開催し、延べ154名（20カ国・地域）が参加し、国際的な情報と人の交流を促進した。また、本行事にはMC/MIの他に一般のコンサルティングファームや研修企業等の関係者の参加もあり、全能連ならびにMC/MI認定制度知名度の向上が図られた。
- (3) 会員団体・MC/MIなど全能連資格認定者に向けて、公益社団法人としての全能連の役割・諸活動や関連する業界情報を積極的に発信するとともに、コンサルタントやインストラクターのプロフィールや専門領域・スキル等に関する情報提供を通じて、資格認定者とマーケットの橋渡しを行っていく。
  - \* 公式Webをリニューアルするとともに、SNS等を通じて全能連活動やMC/MIに関する情報の公開、発信を行い、情報発信力の強化と充実を図った。

### 2. 2019年度事業の総括

- 2019年度決算を当初予算通りに遂行し、さらに特定費用準備資金への資金活用を積極的に図った。
- 創立70周年記念関連の2行事を通じて、会員団体・MC/MIの相互交流のみならず国際組織ICMCI関係者や海外コンサルタントらとの国際交流を深めた。
- 期末時点での会員数は42団体である。（入会1団体、退会2団体）
- 主要事業であるMC/MI認定事業について、MC認定は引き続き減少傾向で、MI認定は微増であった。特にMC認定拡充に向けた対応策を常任委員会で諮ったが、継続審議となった。

次頁以降、2019年度事業別活動報告を行う。

### 3. 事業別計画

#### 公1 経営・マネジメント支援等事業

##### (1) 全国能率大会事業

全国能率大会（経営・技術大会、優秀論文発表会）に対し、経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室より、経済産業大臣賞、産業政策局長賞ならびに経済産業省後援名義を交付しない旨の通達（2019年4月23日付）を受けたため、2019年度は本大会リニューアルに向けて、理事会をはじめ広く関係者と検討を重ねた結果、2020年度から「全能連マネジメント・アワード」を開催することとなり、その開催概要を発表した。

◇開催日：2020年1月9日（木）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

##### 【全能連マネジメント・アワード】

組織・人材の能力および活力を引き出す経営・マネジメント支援活動や実践理論の研究活動などを広く募集し、優れた活動や研究を行った個人・グループに以下の賞と奨励金を授与する。

◆最優秀賞：「全能連マネジメント大賞」

◆優秀賞：「コンサルタント・オブ・ザ・イヤー」

「インストラクター・オブ・ザ・イヤー」

「アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー」

「プログラム・イノベーター・オブ・ザ・イヤー」

◆特別賞

- ・会員外にも広く門戸を開き、より広く広報に努め、応募の質・量の拡大を図る。
- ・応募締め切り（2020年7月6日）後、第1次審査（2020年10月）で受賞候補者5名程度を選出し、二次審査（発表会、2021年1月）において、「オブ・ザ・イヤー」「特別賞」および「全能連マネジメント大賞」を選定し、表彰する。

◇二次審査（発表会・表彰式）：2021年1月<予定>

◇会場：東京都内<予定>

##### (2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

###### 【資格称号認証事業】

- ・申請があり次第、該当委員会の審査を経て、なるべく速やかに認証するとともに、認証資格の運営状況に対して、継続し確認する体制を維持した。

また、認証した資格については、広く産業界に告示し、資格を取得しようとする個人や企業が的確に選択できるよう情報提供の効果を高めた。

\*資格認証・認定審査会を開催し、認証を審議した資格は以下のとおり。

- ・新規認証資格：生産マイスター検定（一般社団法人人材開発協会）
- ・認証資格更新：環境経営士（一般社団法人日本経営士会）他、全4資格
- ・認証資格変更：事業承継・再生スペシャリスト（一般社団法人日本経営管理協会）
- ・認証資格取下げ：経営調査士（一般社団法人日本経営調査士協会）他、全5資格

●期末現在：52資格／17団体（前年：56資格／17団体）

#### 【MC/MI認定共通】

- ・認定MC/MIへの定期的なメルマガ配信で、更新CDP対象プログラム紹介や海外コンサルティングニュースなど情報提供を質量ともに強化を図った。
- ・認定MC/MI他関係者に向けた自己研鑽と相互のネットワーキングを目的とする会合を開催した。

◇開催日：2019年9月25日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

◇プログラム：

テーマ：「日本企業に眠る自己変革能力（ダイナミック・ケイパビリティ）を目覚めさせる  
…不条理の回避方法」

慶應義塾大学 商学部・大学院商学研究科 教授 菊澤 研宗氏

参加者48名（内12名が認定MC/MIの更新対象グループディスカッションに参加）

- ・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMC/MIは全能連ホームページ上で広報した。

●期末現在：MC 681名（前年：710名）、MI 69名（前年：66名）

#### 【会員協同資格】

- ・会員協同により展開している全能連認定資格（ITPS、BPIE、HPMP）に関し、要請により制度委員会へ出席するとともに、取得者の更新に伴い開催される交流会への参加を行った。
- ・HPMPに関して、HPMP-SとHPMP-Lの2資格に分割による運用を開始した。

### （3）マネジメント関係調査研究事業

#### 【調査研究】

- ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 首席研究員 本村陽一氏をコーディネーターとするAIの社会実装に関する研究会の概要（2020年8月～10月実施予定）を発表した。

◇開催日：2020年1月9日（木）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

#### 【海外との情報交流】

- ・国際組織ICMCIの「Asia Pacific Hub Meeting」の東京開催をはじめ、各種事業（総会、アワード、コンファレンス、ISOなど）の紹介及び参加をMC、MMC、EMIなどの国際資格保持者に対して呼びかけ、コンサルタント同志の国際交流をはかるとともに、我が国関係者に役立つ情報提供を行った。

### （4）会員内事業

#### 【会員交流の促進】

- ・全能連70周年記念行事の開催を通じて、会員間及び関係官庁との情報交流・アライアンスの探求など新たな事業やビジネスに繋がる「交流の場」の拡大を引き続き図った。

◇開催日：2020年1月9日（木）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

◇プログラム：

第1部 講演 テーマ「産業人材政策の現状と今後の展望」

経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室長 能村 幸輝氏

第2部 表彰式・懇親会

<表彰者> 1. 全能連顕彰「感謝」

中村 正己 様 一般社団法人日本能率協会 会長（全能連 前会長）

2. 全能連認定マスター・マネジメント・コンサルタント名誉称号

佐藤 葵 様 株式会社ジェムコ日本経営 代表取締役社長

（全能連 前副会長）

#### 【会員の入会・脱会】

・入会：一般社団法人人材開発協会（2019年7月1日付）

・脱会：公益社団法人企業情報化協会（2019年7月24日付）

一般社団法人日本経営調査士協会（2020年3月31日付）

●期末現在会員数：42団体

#### 収他1 顕彰者表彰事業

前年度と同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施し、顕彰30名、表彰13名（前年36名、表彰11名）を顕彰した。

◇開催日：2019年9月25日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

以上